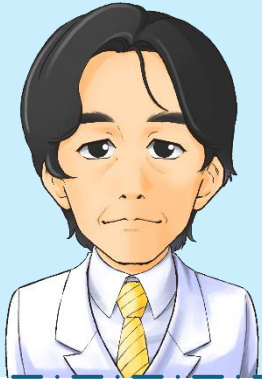


IBD センターのご案内

診療日：月・水・木の午前 ※祝日は除く

炎症性腸疾患（Inflammatory Bowel Disease：IBD）を
対象とした IBD センターを開設いたします



担当医

わたなべ ちゆき
渡邊 千之 先生

【専門】

消化管疾患・炎症性腸疾患

【資格・その他】

日本消化器病学会 専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本内科学会 認定医・指導医

医師から一言

私はこれまで 30 年間あまり、県立広島病院にてクローン病や潰瘍性大腸炎をはじめとする、多くの IBD 患者さまの診療に専門医として携わってまいりました。

これまでの経験を活かし、患者さま一人ひとりの症状や生活に寄り添った丁寧な診療を心がけてまいります。

診療内容

- クローン病・潰瘍性大腸炎の診断と治療
- 最新の治療法のご提案と、患者さまに合わせた治療計画の立案
- 症状の管理と生活の質の向上をサポート 等



炎症性腸疾患ってなんですか？先生

炎症性腸疾患とは、一般的には潰瘍性大腸炎(UC)と、クローン病(CD)を指します。原因不明の難治性消化管疾患として、厚生労働省の特定疾患に指定されています。



珍しい病気なんですね！

そうですね。しかし、2014 年までに全国で潰瘍性大腸炎の方が 171,000 人、クローン病の方が 41,000 人 も登録されており、年々増加傾向にあります。



身近な病気になりつつあるんですね……!?
どういう病気なのかもっと教えてください!!

分かりました。炎症性腸疾患は 10~20 代の若年者を中心に発症し、症状としては腹痛、下痢、血便などで食事が取れず、再発性が高く治りにくいため、長期の入院や手術が必要となることも多いのです。



そうなんですね……。それだと、体の負担だけでなく学業や仕事、結婚などの社会的な QOL も著しく侵害されて、患者本人や家族の大きな苦痛になってしまいますね。

この数年間で免疫調整剤の使用、生物学的製剤や低分子化合物などの分子標的治療薬の出現で、劇的な治療の進歩が見られています。早期の適切な治療により、患者さんの予後が大きく改善される時代となっています。



患者さまが安心して通院いただけるよう、スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます